

# 梅ヶ島 山の声

～ 梅ヶ島出張所通信 ～



コノハスっくん



## 新年のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。昨年は、出張所通信「梅ヶ島 山の声」を12号発行し、毎月発刊の目標を達成できました。これも発刊にご協力頂いた方、ご愛読頂いた方々のお陰と感謝いたします。今年も、本通信を通じて当出張所管内の出来事、工事情報、地域の情報等を情報発進していきたいと考えていますので、引き続きご愛読の程、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。新春号にあたり、本出張所関係者の「昨年の反省、今年の目標」を発表いたします。



## 今年の目標

### 〔出張所職員〕

	氏名〔役職〕 佐々木 元【梅ヶ島出張所長】
	昨年の反省 出張所通信は毎月発行できたが、スポーツの復活までは至らなかった
	今年の目標 「至誠にして動かざるものは未だこれあらざるなり」何事にも誠意を持って取り組みます
	氏名〔役職〕 野村 里美【梅ヶ島出張所 事務係長】
	昨年の反省 「早寝早起き」は概ね実行できた。今年も引き続き実行し食生活にも気をつかい、健康的な生活を送る
	今年の目標 常に冷静(れいせい)さと心の広い視野(しや)を持って、目の前の仕事に取り組みます
	氏名〔役職〕 下和田 瞭【梅ヶ島出張所 技官】
	新規の挨拶 経験が少ない分をやる気、行動力でカバーして職務に努めます
	今年の目標 仕事に集中できるように、体調を崩さない

### 〔支援業務〕

	氏名〔担当〕 糟谷 直彦【梅ヶ島出張所 担当技術者】
	昨年の反省 週2回の休肝日は無理でしたので、今年は1回にしようと思ひます
	今年の目標 結論を急がず、よく考えてから行動する。整理整頓を心掛ける
	氏名〔担当〕 森 光央【梅ヶ島出張所 車両管理員】
	新規の挨拶 昨年5月から車両管理員となり、山間地の危険箇所を把握し、安全運転に徹した
	今年の目標 梅ヶ島地区の危険急傾斜地を覚え、地区の歴史なども勉強する

### 〔工事関係者〕

	氏名〔工事〕 大口 昌彦【(株)白鳥建設「平成25年度 安倍川水系杉の木沢砂防堰堤工事」現場代理人】
	新規の挨拶 あけまして、おめでとうございます。今年は、自身のスキルアップを図り、社会に貢献していきたいです
	今年の目標 健康の為、週2回休肝日を設け、実行する
	氏名〔工事〕 杉山 徳生【(株)白鳥建設「平成25年度 安倍川水系杉の木沢砂防堰堤工事」監理技術者】
	昨年の反省 暴飲暴食しなかったが体重は落ちず、タバコ本数は1日10本以上減らした、地元行事に参加した
	今年の目標 規則正しい生活習慣を心掛け、適度な運動をして体重を落とす
	氏名〔工事〕 小澤 孝至【静鉄建設(株)「平成25年度 安倍川水系大河内砂防堰堤改良工事」現場代理人】
	新規の挨拶 書類の誤字・脱字に注意し、落ち着いて仕事をする
	今年の目標 体重をあと、5kg減らす(現在75kg)
	氏名〔工事〕 河村 武伸【静鉄建設(株)「平成25年度 安倍川水系大河内砂防堰堤改良工事」監理技術者】
	新規の挨拶 仕事に対する視野を広げ、様々な角度から判断・対応できるようにする
	今年の目標 喫煙本数を半分に減らし、禁煙に向けての準備をする
	氏名〔工事〕 曾根 英弑【(株)白鳥建設「平成25年度 安倍川水系金山砂防堰堤改良工事」現場代理人】
	昨年の反省 作業手順書の整理は未完成であり、週1回の休肝日も一部しか守ることができなかった
	今年の目標 昨年の反省を踏まえ、作業手順書の整理、週1回の休肝日を守ることを引き続き目標とする
	氏名〔工事〕 豊嶋 浩明【(株)新村組「平成26年度 安倍川水系梅ヶ島出張所管内整備工事」現場代理人】
	昨年の反省 体重は5kg減の目標達成(年末達成・正月休みで1kg増)、休肝日は2月末から未達成(無理がありました)
	今年の目標 引き続き健康管理として体重63kgにする(現在66kg)とともに、運転中の喫煙を止める
	氏名〔工事〕 松永 商秀【(株)白鳥建設「平成26年度 安倍川水系管内砂防施設改良工事」現場代理人】
	新規の挨拶 現場において「安全第一」を優先に掲げて業務を遂行する
	今年の目標 全工期を通じて無事故無災害を目指す
	氏名〔工事〕 赤池 俊行【(株)アースシフト「平成26年度 安倍川水系ウラの沢流路工工事」現場代理人】
	新規の挨拶 梅ヶ島方面は初めてになります、地域の要望に応え工事を無事完成させます、よろしくお願ひします
	今年の目標 仕事を明日に持ち越さない、体重を減らす(現在78kg→目標73kg)

## 「工事だより」平成25年度 安倍川水系金山砂防堰堤改良工事

【施工者:(株)白鳥建設、現場代理人:曾根英弐、工期:平成26年3月18日～平成27年2月27日(工期延伸予定)】

本工事は、昨年9月号で紹介した大河内堰堤と同様に、摩耗した水通し部をコンクリートで復旧し、表面を厚さ5cmのゴムで保護する工事です。現在は、右下の写真の通り、右岸側のラバースチール工を完了し、今月より左岸側の施工を行っています。完成すれば、滝状に美しく流れ落ちる姿を確認できると思います。

現場は、真夏であれば安倍川のマイナスイオン一杯で清々しいでしょうが、現在は真冬、またV字谷の川底で陽が当たらず大型土のうや足場などが凍り付く状況です。このような激寒の中、作業員の方々は、地域の安全のため、鼻水をすすりながら足下に注意して頑張っています。

皆様も、県道の金山トンネル付近を通過する際には、工事の作業員のことを思い出して頂けるとありがたいです。



大型土のうも凍結する激寒



金山堰堤に眼鏡橋出現!



厚さ5cmのゴム製ラバースチール半分設置完了

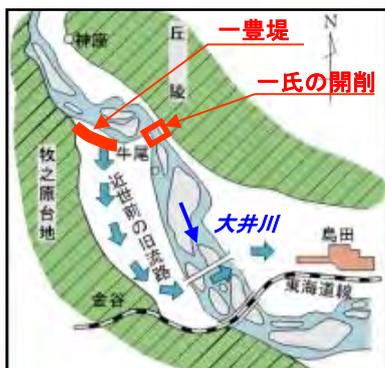
## 「天正の瀬替え(1590年)」、「平成の大改修」と「第二海軍技術廠牛尾実験所」

天正18年(西暦1590年)の戦国時代、島田・金谷の宿場町を大井川の水害から守るため「天正の瀬替え」が実施された。これは駿河城主中村一氏が牛尾山を切り割り、掛川城主山内一豊が堤防を築いて大井川の瀬替えを行ったもので、現在も「一豊堤」を見ることができます。

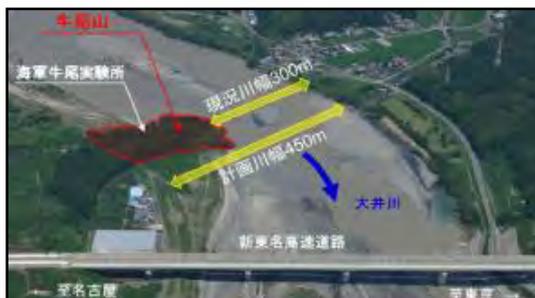
本地区は、牛尾山により大井川がボトルネックとなって、洪水氾濫の危険性が最も高い地区となっているため、「平成の大改修」と銘打って牛尾山開削工事を当事務所の河川事業で実施しています。

この牛尾山で発見されたのが「第二海軍技術廠牛尾実験所」の遺跡で、太平洋戦争末期に旧海軍がB29を打ち落とすためにマグネトンの電磁波を利用した強力電波兵器を研究した実験所です。

パラボラ反射鏡の架台や電源室、発振室などの基礎が確認されましたが、遺跡発掘調査も終わったことから、1月15日より掘削工事を再開しました。



山内一豊らの「天正の瀬替え」



「平成の大改修」と旧海軍牛尾実験所



「第二海軍技術廠牛尾実験所」跡遺跡

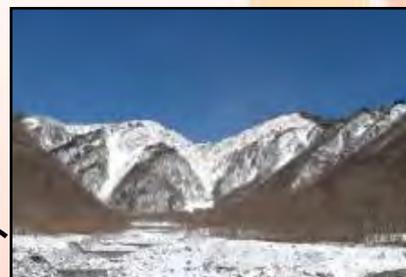
## 編集後記

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

本号では、大井川牛尾山の戦争遺跡を紹介しましたが、この化学兵器研究は「Z研究」と呼ばれ、当時第一線で活躍し、後にノーベル物理学賞を受賞する朝永振一郎や湯川秀樹なども従事していました。実験所内は、戦時中にもかかわらずアカデミックで自由な雰囲気だったそうです。終戦末期、当時の責任者は、優秀な物理学者の疎開先として本川根(現川根本町)崎平の大井川発電所のトンネルを利用した記録もあります。県内の貴重な戦争遺跡を残したいとの署名運動もありましたが、その方々の気持ちも忘れてはならないと思いました。

今年も皆様からの情報やご意見を募集しますので、以下までお願い致します。

Tel:054-269-2003、E-mail:[http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/05\\_jigyuu/02\\_office/toiwase.html](http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/05_jigyuu/02_office/toiwase.html)



白銀の世界  
「冬の大谷崩」

